NIE実践報告

1．タイトル：初年次教育に新聞を活用する試み

2．学校名

札幌国際大学(人文学部心理学科子ども心理専攻)(北海道)

3．実践者名（代表者名）

武井　昭也

4．学年

第2学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

子ども心理基礎演習Ⅱ　37人

6．単元（本時の学習課題）名

興味･関心のあるテーマを深めよう

7．目標（狙い）

3年目の心理学や保育者養成に関する専門教育に繋げるためのテーマ設定と興味･関心の深化

8．評価の視点

新聞記事と関連事項をノートにまとめ発表を繰り返す活動を通して、意欲やテーマへの取り組みを評価する。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

後期15回の科目において、ガイダンスと発表、まとめの発表と全体発表を計画

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

(1)ガイダンス:展開と各自の活動を説明･ノート作成方法の確認
(2)活動:興味･関心のあるテーマに沿って新聞6紙+日本教育新聞などを読み、記事をコピーまたは切り取ってノートに貼り付け、関連事項を調べ、感想･意見を加えて見開き2ページにまとめる。
(3)ゼミ発表･意見交換:必要に応じて担当教員(3ゼミ=3名)が発表内容･発表方法･関連事項の探索などについて補足･アドバイスをする。
(4)ゼミのまとめ･発表:パワーポイントを用いて追究したテーマと関連事項についてまとめの発表をする。
(5)全体発表会:専攻3ゼミ合同による成果発表会(各ゼミ代表2名が自身の発表をし、意見交換と教員による補足･まとめ)

11．児童・生徒の反応、感想・意見

新聞に触れることが少ない学生が多く、6紙を比較するという思考方法が理解できていない学生が多かったが、新聞情報量の多さ、読む楽しみ、新聞への親近感が増した。

12．成果と課題

成果(1)分析･構成･発表という1年目の学びを実際に活用できた。(2)現実社会の事象を確認･比較して整理し、自身のテーマを追究できた。(3)記事を追うことで事実や結果だけではなく、原因や経過、周辺への影響などに視野が広がった。(4)新聞記事から社会の理解と人間理解が深まった。
課題(1)複数の新聞をより深く比較することで新聞の長所を考えること。(2)発表や意見交換などの際に、自身の既知情報と相手の状況を配慮した説明や発表を工夫すること。